

これがオススメ! 読み聞かせ本

中学年

指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさん
の本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さ
て実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読
んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせが
できるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

小学生のしんちゃん、あ
る日、船乗りのお父さんのお
土産に、1匹のおさるをもら
います。しんちゃんのおさる
日記の始ま
りです。

読み始め
る前に、「最
後のページ
は少し声を
小さくして、
ゆっくり読
むからね。」

と前もって話しておきます。

さて、しんちゃんの「ペット」
として飼われ始めたおさる。そ
のおさるはだんだん人間に近
くなっていきます。いつの間
に「しんちゃん」と呼びかけた
り、話もしてしまったりする
ようになります。

ありえないことなのに、も
しかしたら…と、子どもたち
はだんだんお話の世界に引き
込まれていきます。

そして、そんな文章にびつ
たり合う絵も描かれています。
尻尾がだんだん短くなってい
く様子、毛が抜けてだんだん
薄くなっていく様子などがさ
りげなく表されています。

いよいよ最後のページです。
約束どおり、少し声を小さく
してゆっくり読み始めます。
「あつ、最後のページだ。」子



『おさる日記』

(和田誠 文 村上康成 絵 偕成社)

どもたちはぐっと集中して食
い入るように絵本に集中しま
す。読み終わると、すぐに分
かった子がざわめき始めます。
「えつ、何のこと？」よく分か
らない子がきよろきよろしま
す。最後にクラスで一番元氣
で明るい男の子に「君はだい
じょうぶかな？」と聞いてみ
ましょう。お話の世界が、急
に自分たちの身近な話に変化
するのが分かるでしょう。

落ちがわからない子がいて
も、友達が教えてくれるので、
先生が説明する必要はあまり
ないでしょう。どんな落ちか
つて？それは先生「自身が読
んで楽しんでください。」